



# ニュースレター

美しい地球を子どもたちに残すため、  
限りある自然資源を有効利用し、  
持続可能な循環型社会づくりに貢献する。

発行：公益財団法人Save Earth Foundation (SEF) Vol.19 2016.2月号

## 資源循環事業トピックス

食品リサイクルをはじめとする廃棄物の再資源化に関するトピックスや、SEFの資源循環事業の動向についての最新情報をご紹介します。

### 『東京都「持続可能な資源利用」に向けたモデル事業』に取り組んでいます』

SEFでは、昨年7月～8月に東京都環境局が公募した『「持続可能な資源利用」に向けたモデル事業』に応募、採択され、昨年12月から取組みを開始しています。今号ではその内容について、その背景や目的と共に紹介します。

#### 《東京都「持続可能な資源利用」に向けた取組方針の策定》

東京都では、平成26年12月に公表した【東京都長期ビジョン】の中で、「持続可能な資源循環型都市の構築」を目指すことを明らかにし、昨年3月には「持続可能な資源利用」に向けた取組方針を策定しました。

この方針では、2020年に開催される東京オリンピックとその後を見据え、東京の持続的発展を確保するための資源循環都市の構築を目指し、右図の通りの「めざす姿と3つの柱」を掲げています。

そしてこの方針を実現するため、東京都では3つの柱をテーマとしたモデル事業を公募し、SEFはこのうちの「廃棄物の循環利用の更なる促進」をテーマとした事業プランを提出、採択されました。

#### 《本事業の取組み》

本事業は、都内に多く存在する商業ビルや小売店、飲食店等から排出される「事業系一般廃棄物」の資源利用を促進することを目的としています。本年度はその第一段階として、都内の商業ビルと小売店に廃棄物の計量機器を導入し、廃棄物の分類ごとの実測計量を行う試験を実施し、この試験で得られるデータを基に、効率的な回収方法と循環資源の賦存量（理論的に導き出される総量）に関する仮説を構築します。

そして、将来的には地域ごとの廃棄物・循環資源のデータベースを活用した資源物市場を構築し、新たな資源循環ビジネスの実現に繋がりたいと考えています。本事業の進捗については、随時ニュースレター等でご紹介してまいります。

東京は、2020年オリンピック・パラリンピックとその後を見据え、  
『東京の持続的発展を確保するため、世界一の都市・東京にふさわしい資源循環を実現』

このため、  
① 廃棄物の3R施策を土台に、最終処分量の削減とともに、資源利用の流れの上流側から、サプライチェーンの観点も含め、資源の利用を持続可能なものに転換させていく。※低炭素社会構築にも寄与する取組を一体的に推進

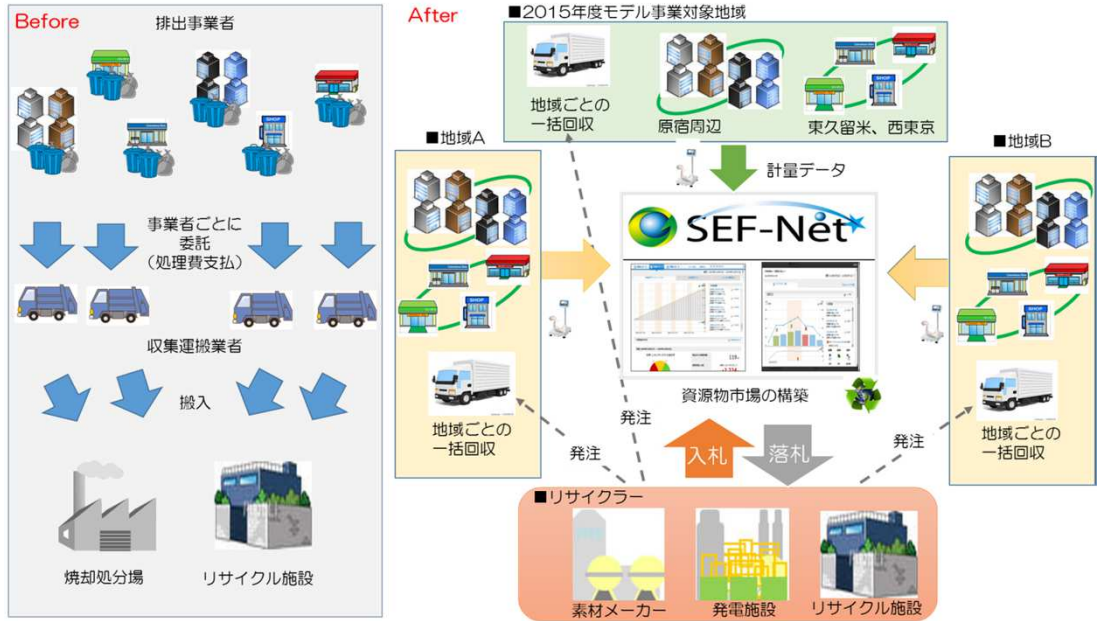
＊資源の利用の流れ  
資源の採取・素材の生産等 → 製品の製造・供給 → 製品の使用・再利用 → 適正処理

【「持続可能な資源利用」を進めるための3つの柱】  
製造・供給者・使用者等全ての主体による「都市活動に必要な資源の継続的な確保」と「資源利用に伴う環境影響を回避」するため、次の3つを施策の柱とし、取り組んでいく。

- 資源ロスの削減の促進 資源消費の無駄を見直し、資源生産性を向上
- エコマテリアルの利用の促進 低炭素・自然共生・循環型の建築資材や物品等を選択して利用
- 廃棄物の循環利用の更なる促進 より高度な循環利用と不適正な処理等の防止

＊「世界的に対応が求められている課題」や「東京での資源消費量・廃棄物発生量が大きいもの」について重点的な取組を推進

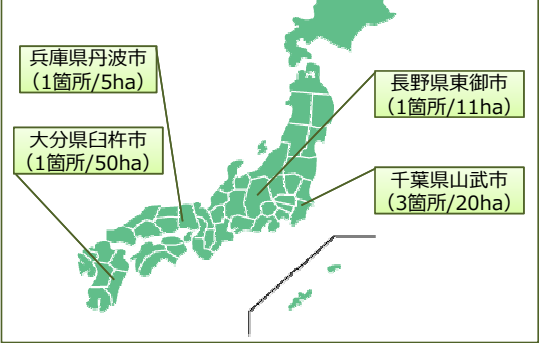
出典：東京都「持続可能な資源利用」に向けた取組方針（概要）



## 各地域の森林トピックス

SEFが管理・関与している各地の森林の様子、また各地におけるSEFや提携団体の活動の状況をレポートします。

### 【SEFの森林MAP】



#### 【日向の森】(千葉県山武市)

今回も先月に続き、間伐作業を実施。初参加の女性サポーターに、手ノコギリでの間伐を体験して頂きました。午後は散策路をふさぐ広葉樹の除伐作業を行いました。立派なホダ木になりそうなので、森の中でシイタケを育ててみることに。実験の様子は今後の活動報告で随時ご紹介してまいりますので、ご期待ください！



#### 【臼杵の森】(大分県臼杵市)

1月9日、冬らしい寒さの中、総勢12名が集い、今年度2回目の活動を行いました。みっちり2時間の作業を経て、予定エリアの除伐作業を完了しました。サポーターの皆さんからは「参加してよかった」という声を頂くことができました。臼杵の森では、来年度も定期的に活動を行っていく予定です。九州地方の皆さん、ぜひご参加ください！



#### 【丹波の森】(兵庫県丹波市)

今回の定例活動では、前回までに集積した間伐材を木の駅プロジェクトに出荷する作業を行いました。屈強な男性サポーター5名に参加頂き、軽トラック2台でピストン輸送。合計85本、約3.3トンの間伐材を搬出できました。2月は自治会の皆様と共に28日(日)の活動を予定しています。関西地方の皆様、ご参加お待ちしております！



## 財団からのお知らせ

### 【森林再生活動 ボランティアさん大募集！】

SEFでは、各地域での森林の再生・保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを随時募集しています。千葉県山武市では毎月2回(東京駅から送迎いたします！)、兵庫県丹波市では毎月1回、長野県東御市、大分県臼杵市でも年1～2回以上、その他提携団体の活動にもご参加頂けます。開催に関する詳細はホームページにて随時ご案内していますので、奮ってご参加ください。

### 【各地域の協定森林見学・視察 ご案内いたします！】

また、SEFの活動を支援して頂いている賛助会員・サポーターの皆様には、SEFが森林再生事業においてどのような活動をしているかを知って頂く機会として、活動を行う各地域の森林の視察・見学を随時受け付けています。詳しくは事務局までお問い合わせください。



公益財団法人  
Save Earth Foundation

〒144-0043 東京都大田区羽田 1-1-3 大鳥居急第一ビル7階 (ワタミグループ本社内)  
お問い合わせ TEL: 03-5737-2744 e-mail: info@save-earth.or.jp  
ホームページ http://save-earth.or.jp/ FAX: 03-5737-2793